１２月定例会ハイライト

中山間地域振興施策調査特別委員会を設置し、議案３０件を可決。

12 月定例会は、11 月 28 日に招集され、12 月 22 日までの 25 日間の開期で開催されました。定例会の初日には 25 議案が上程されました（うち 1 議案は撤回）。

一般質問は、12 月７日から１２日までの４日間で、20 人の議員が登壇して行い、１２日には、補正予算を含む３議案が新たに上程されました。各常任委員会は 14 日から 19 日までの４日間で開かれました。

最終日には、議案２８件を原案どおり可決するとともに、議員提出議案２件が上程され可決し、中山間地域振興施策調査特別委員会が設置され、閉会しました。

トピックス①　持続可能な地域を目指し、中山間地域の振興の特別委員会を設置

市民共有の貴重な財産である中山間地域の、豊かな自然や魅力ある地域資源・文化を次世代につないでいくため、持続可能な地域を目指し、生活環境の整備及び基幹産業である農林水産業の振興に関する諸問題を調査する中山間地域振興施策調査特別委員会を設置。

トピックス②　物価高騰などに対応する支援策についての予算を可決

その１　エネルギー・食料品等の物価高騰による負担増に対応した給付金を支給

物価高騰対応重点支援給付金支給事業（臨時交付金）　13 億 7,151 万 2,000 円

電力・ガスをはじめエネルギー・食料品等の物価高騰による負担増に対応するため、家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、１世帯当たり７万円の給付金を支給する。

その２　消費喚起により地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行

岩国市プレミアム商品券発行事業（臨時交付金）　　９億 3,569 万円

物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援し、消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム率 80%の「いわくに地域応援商品券」を発行する。